

事業名：治療中患者の特定健診受診率向上（あいちモデルの構築）

代表組合：デンソー健康保険組合

参加組合：アイシン健康保険組合、愛鉄連健康保険組合、オークマ健康保険組合、サンゲツ健康保険組合、中部電力健康保険組合、トヨタ自動車健康保険組合、豊田自動織機健康保険組合、トヨタ車体健康保険組合、トヨタ紡織健康保険組合、マキタ健康保険組合

背景・目的



- ・被扶養者特定健診受診率が課題
- ・治療中患者に特化した事業は未実施
「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第3.2版）3-2-2」実施する保険者少



- ・治療中を理由に特定健診未受診者多
- ・生活習慣病の治療なら血液検査してる可能性有

令和3年度

厚生労働省補助金PFS事業にて治療中患者の特定健診受診事業を実施（目的：特定健診受診率向上及びデータヘルス事業強化）

●成果

- ・対象者（健診未受診かつ治療中者）の約20%が受診
- ・治療中項目以外にて高値項目がある受診者が存在

●新たな課題

- ・限定的な実施（保険者・地域）であり、拡大した際の対応
- ・治療中項目以外の検査値が高い人を放置させない仕組みの構築
- ・医療機関からの協力体制の確立

令和4年度

成果及び新たな課題が確認できたため、課題解決及び愛知県内他保険者・他県への普及促進を目的とした共同事業を実施

組織（役割）

- ・保険者…デンソー健康保険組合を代表組合とする上記11組合（本事業の統括、企画・方針の決定）
- ・民間委託業者…株式会社あまの創健（事務局）
- ・その他…名古屋大学予防早期医療創成センター（事業アドバイス・評価）
健康保険組合連合会愛知連合会（後援、普及促進検討）

実施内容

1. 保険者と医師会・医療機関との連携スキーム構築
※大規模病院からも協力を得るため対策を実施（右表）

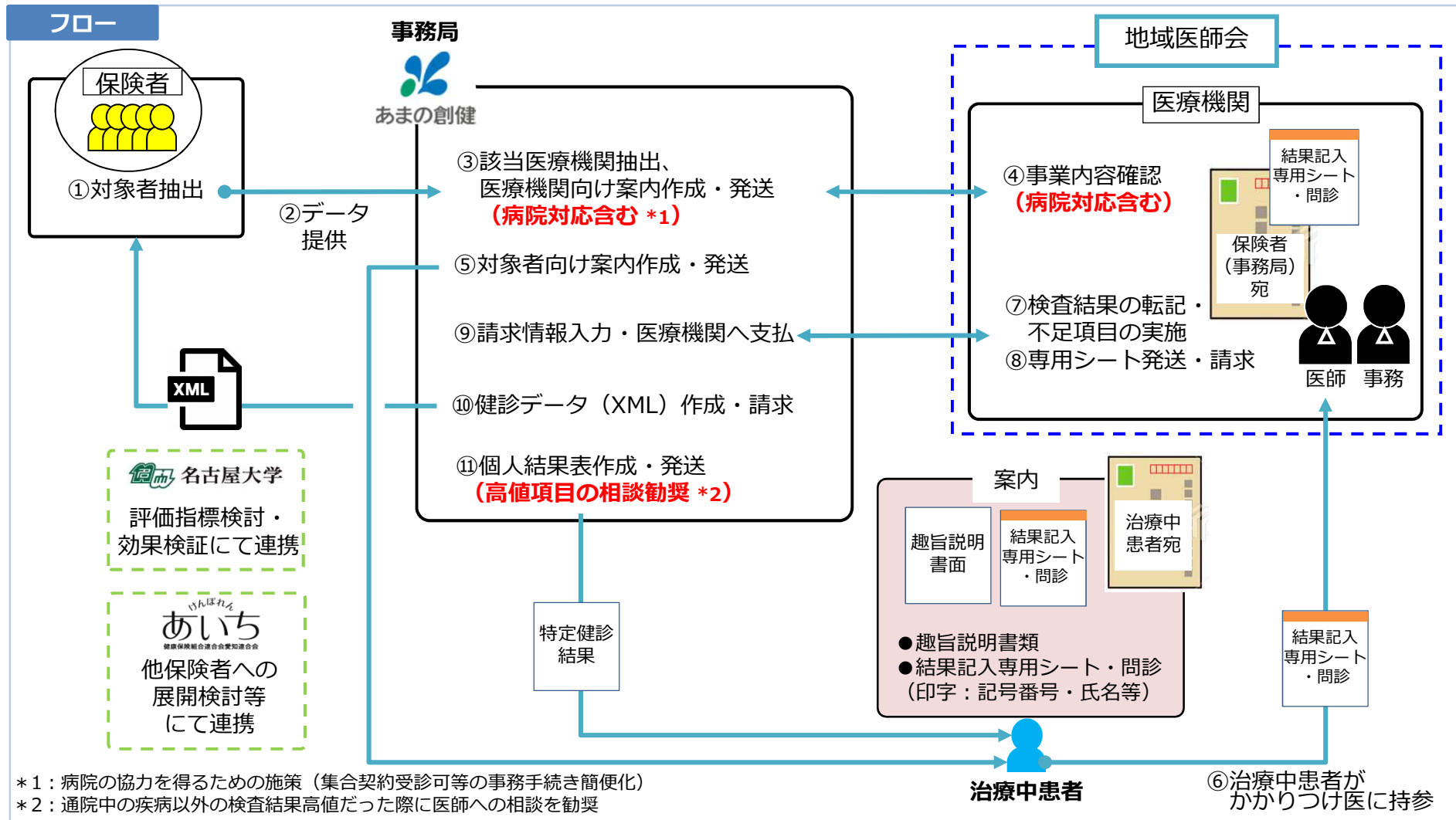
2. 医療機関からの検査情報回収

- ・対象者（特定健診未受診者かつ生活習慣病関連治療中者）を抽出し、検査結果情報提供の案内を作成し、対象者宛に発送
- ・対象者が医療機関へ受診した際に案内を提示し、医師が検査情報を専用シートへ転記
- ・転記情報を元に、委託業者が特定健診データ作成

3. 受診者への結果通知及び重症化予防対応

- ・医療機関からの情報を元に個人結果表を作成し、受診者へ発送。治療中項目以外にて高値項目があった際には、医師への相談を勧奨

非協理理由	対策
対象者が少ない	対象保険者・対象者の拡大
理解不足	愛知県医師会からの通達、事業説明サイトの構築
手間	集合契約での健診受診も可として簡便化



共同事業により期待する効果

- ・ 医師会及び医療機関との連携等、保険者単体では実現困難な事業スキームの構築
- ・ スケールメリットによる費用の抑制
- ・ 対象保険者及び対象者拡大による医療機関との協力体制の強化
- ・ 令和3年度事業における実績（対象者の受診率約20%、治療中項目以外での高値項目の確認）が、他保険者でも該当するかの確認
- ・ 規模や居住地域等が多様な複数保険者で実施することによる、事業普及に向けた課題把握
- ・ 事業評価体制の確立